

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	リサーチワークショップ I A	
科目基礎情報							
科目番号	21030			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気工学科			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	なし						
担当教員	仙波 伸也,三浦 敬						
到達目標							
1. 研究の基礎となる目標設定および目標達成のためのスケジューリングができる。 2. 研究の基礎となる知識・技術の重要性を理解できる。 3. 与えられたテーマに対する実践的行動の結果をレポートにまとめることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安 (優)	標準的な到達レベルの目安 (良)	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安(不可)			
評価項目1	研究の基礎となる目標設定 および目標達成のためのス ケジュールをともに綿密に 構築できる。	研究の基礎となる目標設定 および目標達成のためのス ケジュールを概ね構築でき る。	研究の基礎となる目標達成 のためのスケジュールを構 築できる。	研究の基礎となる目標達成 のためのスケジュールを構 築できない。			
評価項目2	研究の基礎となる知識・技 術の重要性を自ら深く理解 できる。	研究の基礎となる知識・技 術の重要性を自ら概ね理解 できる。	研究の基礎となる知識・技 術の重要性につて、教員の 説明内容を理解できる。	研究の基礎となる知識・技 術の重要性を理解できない 。			
評価項目3	与えられたテーマに対する 実践的行動の結果をレポー トに分かり易くまとめるこ とができる。	与えられたテーマに対する 実践的行動の結果のうち 、重要な箇所をレポートに まとめることができる。	与えられたテーマに対する 実践的行動の結果のうち 、基礎的な箇所をレポート にまとめることができる。	与えられたテーマに対する 実践的行動の結果をレポー トにまとめることができな い。			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	第2学期開講 各専門学科において、グループ単位でテーマを決めてミニ卒研を行い、研究を行う上で必要な素養を学ぶ。本科目では、1・2年次に学ぶ学習内容が専門領域とどのように関連し、その後の専門科目との繋がりと最終ゴールである卒業研究との関係性を把握することにある。						
授業の進め方・方法	本科目では知識を深めるのはもちろんだが、得た知識と1年次に学ぶ科目との関連性を見出すことが要求される。また、グループ単位でミニ卒研に取り組むことから、グループ学習の基本である自らの思考の言語化、他者と議論できる能力、研究に必要な計画性や複眼的視点が要求される。						
注意点	従来型の座学のように、教員から降ってくる知識を吸収するのみという受け身型の学習を想定していない。研究を行う上で必要な知識・技術の幅の広さを貪欲に吸収し、最終学年のゴールである卒業研究にて要求されるメンタリティを確立して欲しい。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	イントロダクション		本講義の進め方およびゴールを把握できる。		
		2週	ミニ研究(1)		各専門学科で行われる研究の基礎知識を把握できる。		
		3週	ミニ研究(2)		各専門学科で行われる研究の基礎知識を把握できる。		
		4週	ミニ研究(3)		各専門学科で行われる研究の基礎知識を把握できる。		
		5週	ミニ研究(4)		各専門学科で行われる研究の基礎技術を把握できる。		
		6週	ミニ研究(5)		各専門学科で行われる研究の基礎技術を把握できる。		
		7週	ミニ研究(6)		各専門学科にて与えられたテーマに対して実践的行動ができる。		
		8週	ミニ研究(7)		各専門学科にて与えられたテーマに対して実践的行動ができる。		
	2ndQ	9週	ミニ研究(8)		各専門学科にて与えられたテーマに対して実践的行動ができる。		
		10週	ミニ研究(9)		各専門学科にて与えられたテーマに対して実践的行動ができる。		
		11週	ミニ研究(10)		各専門学科にて与えられたテーマに対して実践的行動ができる。		
		12週	ミニ研究(11)		実践的行動の結果をレポートにまとめることができる。		
		13週	ミニ研究(12)		実践的行動の結果をレポートにまとめることができる。		
		14週	ミニ研究(13)		実践的行動の結果をレポートにまとめることができる。		
		15週					
		16週	まとめ		本講義で学んだ内容を整理するとともに、研究活動を行うため必要な素養や視野の広さを理解できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	10	0	90	100
知識の基本的な理解	0	0	0	0	0	30	30

思考・推論・創造への適用力	0	0	0	0	0	30	30
汎用的技能	0	0	0	0	0	0	0
態度・指向性 (人間力)	0	0	0	10	0	0	10
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	0	0	0	30	30